

# 平成21年度 新体操男子規則 一部改定

平成22年 2月21日  
審判委員会新体操男子部

## P23

### 5 手具の破損と差し替え

「旧」(3) 予備手具は、演技直前に演技面のまわりに置くことができる。

「新」(変更)(3) 予備手具は、演技直前に演技面のまわりに置かなければならない

※演技中の手具破損に備えるために必要である。

## 第12条 競技者の服装(試合着) ※平成19年度男子規則一部改定

### (2) 体操用ズボン

「新」(追加) ③ズボンの裾を広げる場合、①のズボンにフレアタイプ状のものを付けることは、

個人競技のみとする ※裾幅の広いズボンの実現を可能とするため。

## P30

### 第5条 演技の途中で競技者が怪我をした場合、監督は演技を中断させなければならない。

この場合、監督は1回の演技復行を審判長に申し出ることができる。ただし、3名での演技は行うことができない。また補欠の演技も認めない。

「新」一部削除 又補欠の演技も認めない。・・・

※補欠登録の選手の出場を認めることにする。

## P39

### C 難度

#### 6 転回系の連続

「新」(難度の追加) 6人同時の後転とび3回後方伸身宙返り 1/2 ひねり・・・D難度

※6人同時の後転とび3回後方伸身宙返りがD難度のため。

## P54

### 第10条 手具

#### 1 手具がまったくの飾りとしての使用

「新」(追加) (2) 演技中、手具の形状が変わった場合は、ただちに本来の形にもどさなければならない

注：ロープの演技中に結び目ができた場合、ただちに結び目をほどくことなど。

※採点規則の不備のため、規則として必要。

## P93

### 新体操ジュニア・中学校男子適用規則

#### I 団体競技

##### (3) 演技時間

「旧」自由演技 2分30秒～3分00秒

「新」自由演技 2分45秒～3分00秒 (変更)

※一般規則と同じにする。

##### (5) 構成難度

「旧」C難度-----1個

「新」(変更) C難度-----2個 (追加) D難度-----1個

※選手のレベルアップにより。

「旧」(6) 伴奏音楽はつけることが望ましいが号令で実施してもよい。

「新」(変更)(6) 伴奏音楽をつけなければならない

※一般規則と同じにする。

「旧」(7) 服装は、自由とする。

「新」(変更)(7) 服装は、第2章一般的な採点規則第12条競技者の服装とする

※一般規則と同じにする。

## (9) 難度

「新」(追加) 6人同時の後転とび伸身宙返り……D難度

※難度の要求変更により、D難度を追加する。

## II 個人競技

### (2) 演技時間

「旧」自由演技 1分00秒～1分30秒

「新」(変更)自由演技 1分15秒～1分30秒

※一般規則と同じにする。

### (3) 構成難度

「旧」C難度-----1個

「新」(変更) C難度-----2個 (追加) D難度-----1個

※選手のレベルアップにより。

「旧」(4) 伴奏音楽はつけることが望ましい。

「新」(変更)(4) 伴奏音楽をつけなければならない

※一般規則と同じにする。

「旧」(5) 服装は、自由とする。

「新」(変更)(5) 服装は、第2章一般的な採点規則第12条競技者の服装とする

※一般規則と同じにする。

以上